



農薬および燻蒸剤

PCA は、農場からお客様までにわたり、食品安全性を重視します。PCA の落花生を栽培する農場は、農薬および重金属の含有量が最小限であることを基準に厳選されています。

農薬

オーストラリアの落花生業界における農薬使用量は、他の多くの農・園芸業界と比較して少なくなっています。更に、PCA では、落花生栽培に使用される農薬の承認に関して、極めて厳格なプログラムを定めています。栽培農家は、落花生栽培における特定用途向けに登録されている農薬のみを使用することを義務付けられています。PCA 所属の農学者、そして彼らと密接に連携するコンサルタントが、栽培農家に技術サポートを提供しています。

落花生栽培における特定用途向けに登録されている以外の農薬を使用することは法律で禁止されています。

全栽培農家には、農薬散布について日誌の記録が義務付けられ、こうした記録は、PCA または政府担当者により抜き打ち監査されます。PCA への落花生出荷に先立ち、全栽培農家は、農薬散布の正確な記録、および登録された農薬のみの使用を記した宣言書に署名することが求められています。

厳格な品質管理により、落花生中の農薬残留物に関する長年のデータが蓄積され、PCA の厳格な品質管理プロトコルをサポートしています。PCA では、多くの荷口からの穀粒抜き取り検査以外に、新規参入農家が落花生栽培を始める前に農場の土壌も検査します。土壌が適用要件を満たさない限り、農家は PCA に落花生を納入できません。

PCA では農薬検査に、最新技術を駆使した Agilent Technologies 社のガスクロマトグラフ質量分析計 - GC (6890N) /MS (5973) を使用しています。

燻蒸剤

PCA の貯蔵・ハンドリング施設では燻蒸剤を使用していません。PCA のサイロは、統合害虫管理システム (IPMS) の一環として、コンピュータ制御にて通気し、温度・湿度調節を行っています。IPMS には、殻むき後の落花生製品全ての低温貯蔵 (毎日監視され、温度 8~12°C、相対湿度 60~70%に調節) を含みます。

また、PCA の輸出プロトコル・手順が、二酸化炭素を燻蒸に使用することにより、化学薬品を使用しない IPMS をサポートしています。基本的に PCA は、圧力試験を実施したコンテナを使用し、落花生の荷積み後、ドライアイスを使用してコンテナを二酸化炭素燻蒸します。

研究実験から、これにより最低 5 日間、場合によっては 10 日間の二酸化炭素燻蒸が可能なことが証明されています。

PCA では、過去 6 年以上にわたり、ヨーロッパや東南アジアへの輸出品全てにこの燻蒸法を使用し、この期間、お客様や港湾管理当局から生きた虫が検出されたとの報告はありません。

更に詳しい情報をご希望の方は、PCA のホームページをご覧ください。PCA 技術部門にお問い合わせください。

ホームページ: <http://www.pca.com.au>
Eメール: peanuts@pca.com.au
電話: +61 (7) 41626311



オーストラリアの落花生業界で 80 年以上にわたりリーダーの地位を保持